

公開情報 2018年7月～12月 半期報

院内感染対策サーベイランス 集中治療室部門

当公開情報半期報において、以下補足いたします。

【補足】

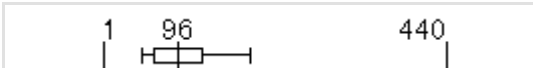
「3. 感染症発生率」の「カテーテル関連血流感染症」において、箱ひげ図の最大値が 111.1 となっています。(2018年上半期報では 7.7、2018年年報では 3.9)

これは、一部の医療機関において、下半期のうち1か月分のデータ提出のみであったため、分母である解析対象者のICU入室日数が少ないことが原因です。

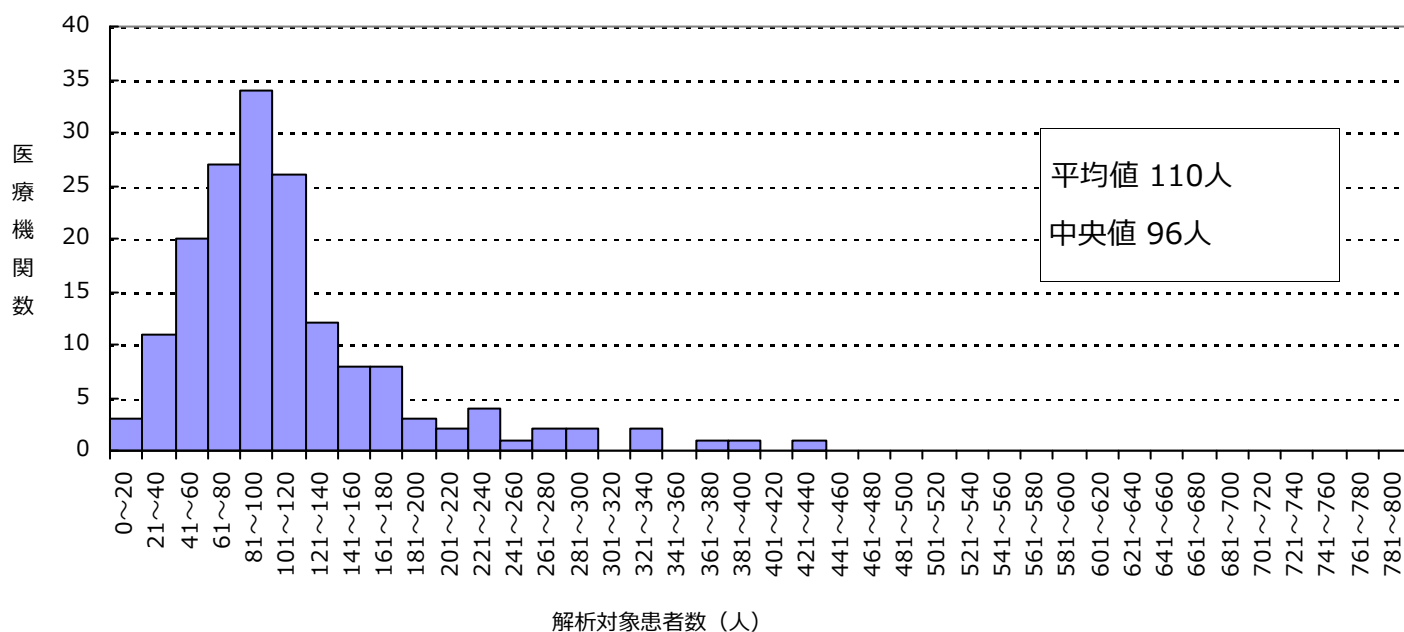
半期報は暫定版の位置づけのため、報告されたデータをそのまま集計しております。なお、2018年年報ではデータ未提出月がある医療機関として、全体集計から除外しております。

公開情報 2018年7月～12月 半期報
院内感染対策サーベイランス 集中治療室部門

1. 集中治療室入室患者数*

集中治療室(ICU)入室患者数	解析対象患者数 †	1医療機関あたりの解析対象患者数(平均値) ‡	集計対象医療機関の解析対象患者数の分布
61,173	18,545	110	

集計対象医療機関の解析対象患者数の分布 (N=168)

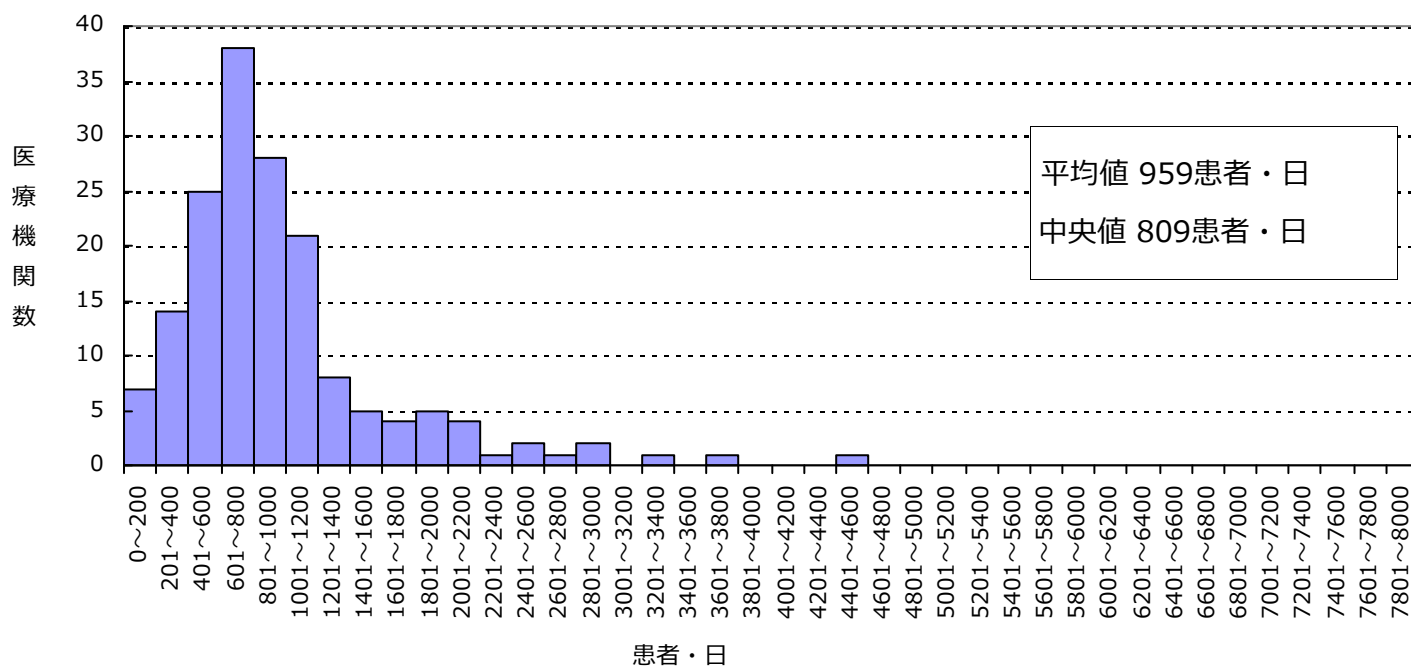


* ICU入室患者は熱傷患者を除く
 † 解析対象患者はICU入室日数が3日以上ICU入室患者で、同一患者が同一月内に複数回入室した場合は1と数える
 ‡ 1医療機関あたりの解析対象患者数 (平均値)
 = (集計対象医療機関の解析対象患者数合計) ÷ (集計対象医療機関数 (ヒストグラムタイトル末尾のNの数))

2. 解析対象患者の患者・日

集計対象医療機関患者・日合計	1医療機関あたりの患者・日（平均値）*	集計対象医療機関の患者・日の分布
161,106	959	

集計対象医療機関の解析対象患者の患者・日分布 (N=168)



* 1医療機関あたりの患者・日（平均値）
=（集計対象医療機関の患者・日合計）÷（集計対象医療機関数（ヒストグラムタイトル末尾のNの数））

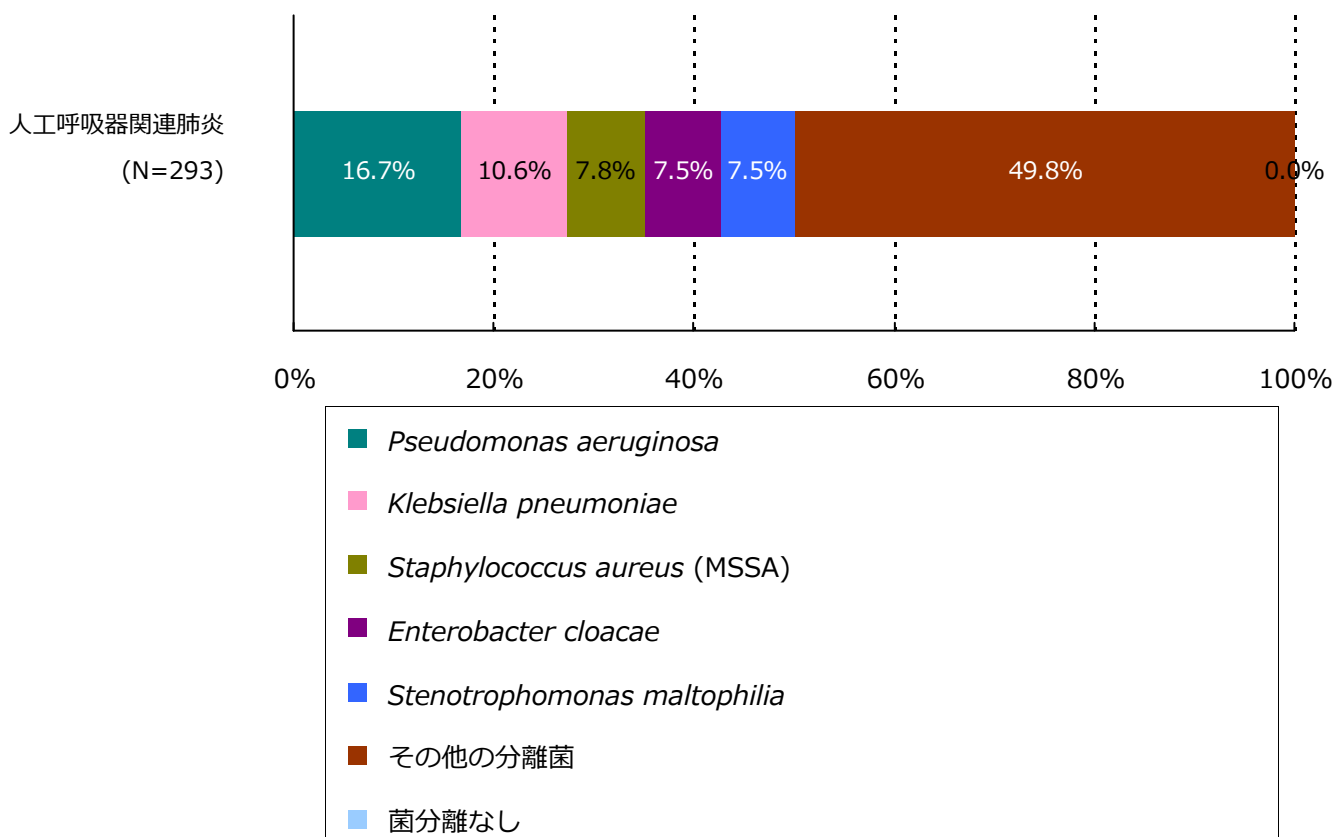
3. 感染症発生率*

	集計対象医療機関の 感染症発生件数合計	全体の感染症発生率 † (/1000患者・日)	集計対象医療機関の感染症発生率 (/1000患者・日)の分布
人工呼吸器関連肺炎	211	1.3	
尿路感染症	133	0.8	
カテーテル関連血流 感染症	102	0.6	

* 感染症発生率 = (解析対象患者の感染症発生件数) ÷ (解析対象患者のICU入室日数) × 1000

† 全体の感染症発生率 = (集計対象医療機関の解析対象患者の感染症発生件数合計)
÷ (集計対象医療機関の解析対象患者のICU入室日数合計) × 1000

4-1. 感染症別原因菌（人工呼吸器関連肺炎）



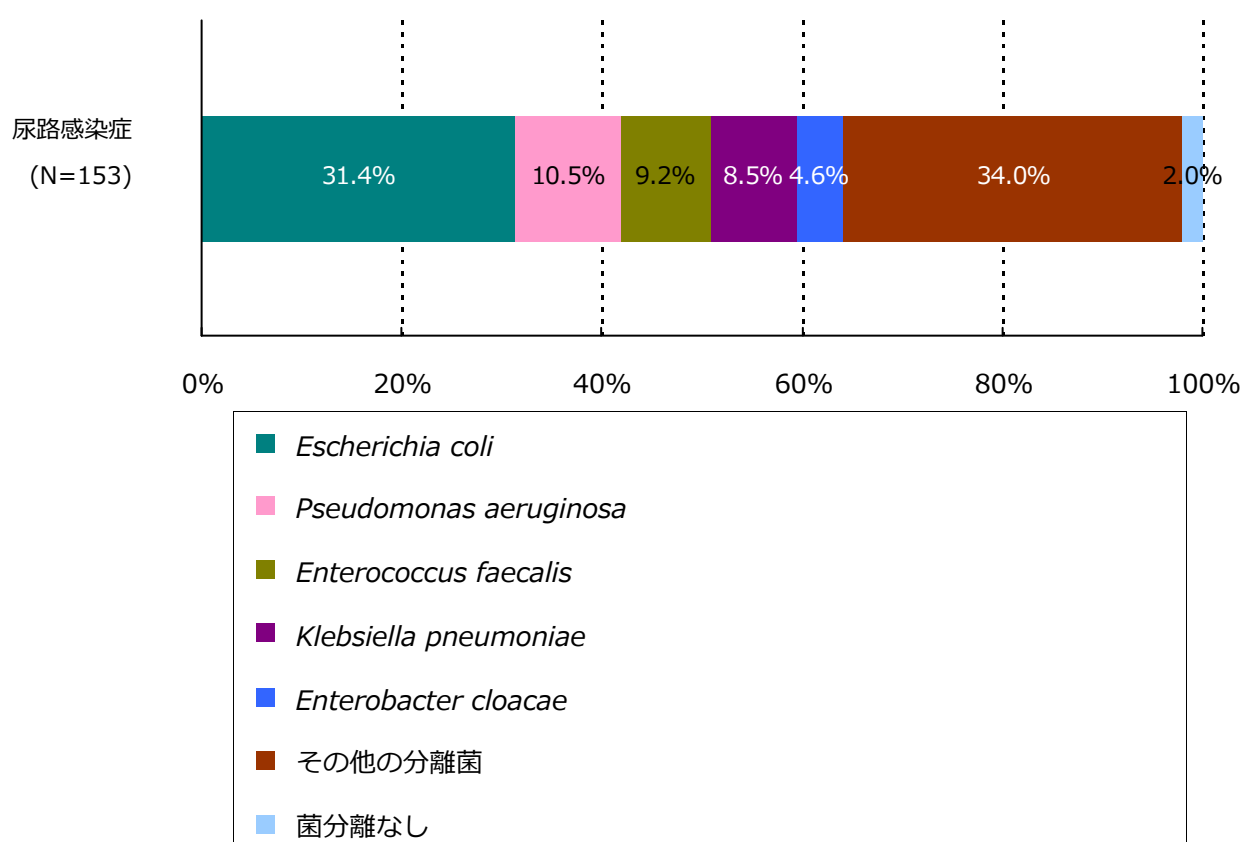
原因菌	分離数*	分離割合
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	49	(16.7%)
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	31	(10.6%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	23	(7.8%)
<i>Enterobacter cloacae</i>	22	(7.5%)
<i>Stenotrophomonas maltophilia</i>	22	(7.5%)
その他の分離菌	146	(49.8%)
菌分離なし	0	(0.0%)
合計	293	(100.0%)
培養検査なし	1	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

*個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発症件数合計と同数にはならない

4-2. 感染症別原因菌（尿路感染症）



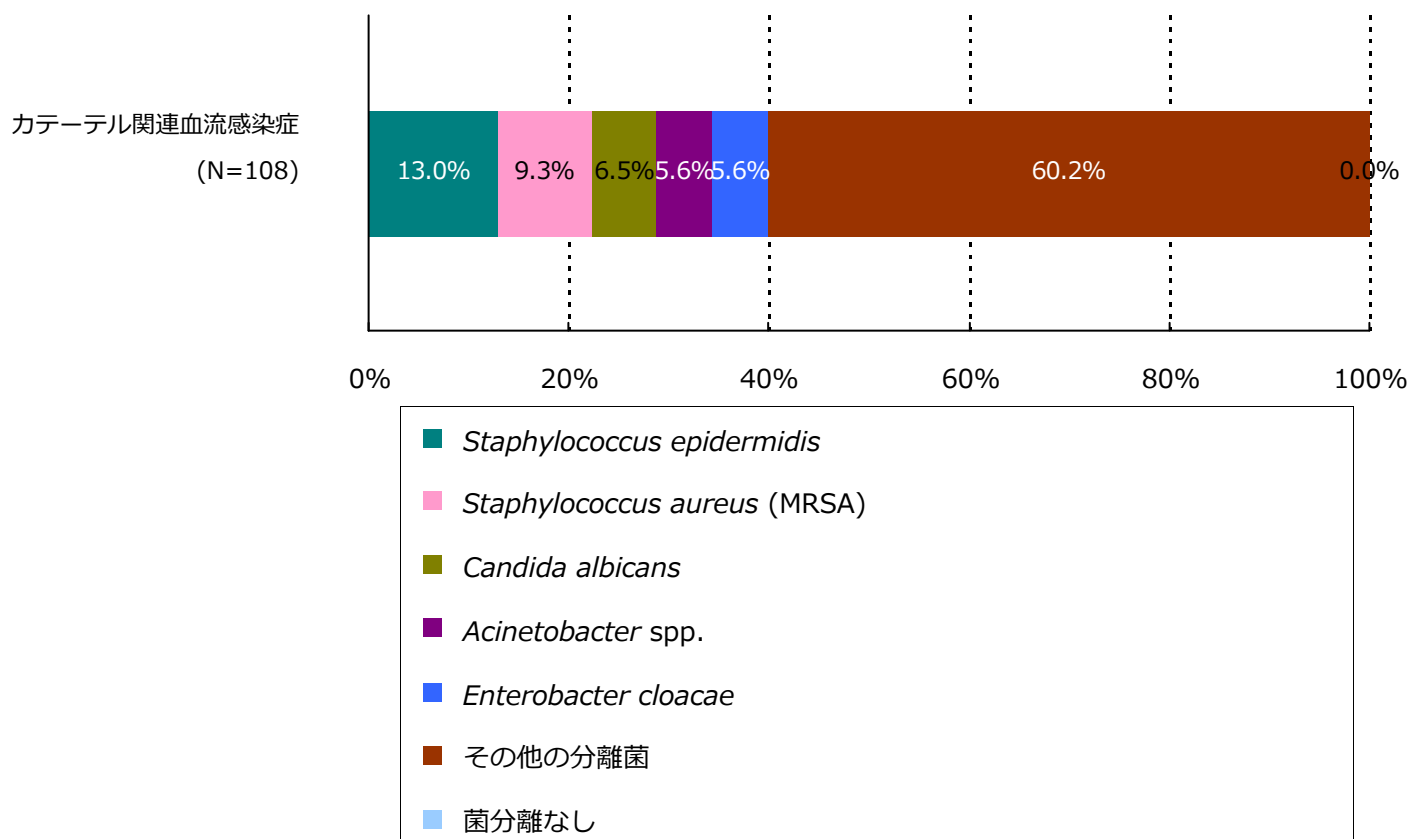
原因菌	分離数*	分離割合
<i>Escherichia coli</i>	48	(31.4%)
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	16	(10.5%)
<i>Enterococcus faecalis</i>	14	(9.2%)
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	13	(8.5%)
<i>Enterobacter cloacae</i>	7	(4.6%)
その他の分離菌	52	(34.0%)
菌分離なし	3	(2.0%)
合計	153	(100.0%)
培養検査なし	6	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

*個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発症件数合計と同数にはならない

4-3. 感染症別原因菌（カテーテル関連血流感染症）



原因菌	分離数*	分離割合
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	14	(13.0%)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	10	(9.3%)
<i>Candida albicans</i>	7	(6.5%)
<i>Acinetobacter</i> spp.	6	(5.6%)
<i>Enterobacter cloacae</i>	6	(5.6%)
その他の分離菌	65	(60.2%)
菌分離なし	0	(0.0%)
合計	108	(100.0%)
培養検査なし	0	

原因菌は上位5菌種のみ表示

菌名は菌名コード (<https://janis.mhlw.go.jp/section/icu.html#code>) に準拠

*個々の感染症において複数の原因菌が報告されている例があるため、感染症発症件数合計と同数にはならない